

区分・種別	重要文化財(石造美術)		
名 称	ほうきょういんとう 宝篋印塔 1基		
所 在 地	今治市宮窪町友浦		
所 有 者	今治市	管 理 団 体	
指定年月日	昭和29年3月20日		
解 説	<p>薬師堂の境内に建立されているこの塔は、3段の基壇上に立ち総高220cm、基壇を含めると267cmの花崗岩製である。基礎3面に鎌倉様式の格狭間<small>こうざま</small>を彫り、背面に刻まれた銘文は次のようである。「嘉暦元年丙寅七月日 願主養通」(注 嘉暦元年は1326年)</p> <p>また塔身の4面にも胎蔵界四仏<small>たいざうかいしぶつ</small>の種子梵字<small>ほんじ</small>が刻まれている。</p> <p>基壇から相輪<small>そうりん</small>まで完全な形で保存されており、銘文、形式、技法からみて鎌倉時代の特色を表わした石造美術品である。</p>		

